

ファーストミッションボックス

～住民自らが避難所を開設するために～

- ・避難所は、災害時の生活場所だけでなく、支援物資が届く地域の防災拠点であり、重要な役割を担っています。
- ・避難所を早く開設することは、避難者の救済につながります。



ですが・・・

- ・大規模災害時は、市職員が必ずしも避難所へ参集できるとは限りません。
- ・発災初期に、行政による公助は期待できません。



避難所を早く開設するには・・・

避難してきた人たちで避難所を開設できる仕組みが必要
そのためには開設する手順と資器材が必要



それを実現するために導入したのが、
ファーストミッションボックス

避難してきた人が確実に避難所を開設できるように、始めに
(ファースト)やるべき任務**(ミッション)**が書かれた手順書
と、必要な資器材が入った箱**(ボックス)**です。

市内の小学校へ配置しました。

どうやって使用するか。

- ・避難所となる小学校の体育館の入口付近にボックスが置いてあります。
- ・誰でも使えるようにするため、箱に鍵は掛かっていません。

ファーストミッションボックス

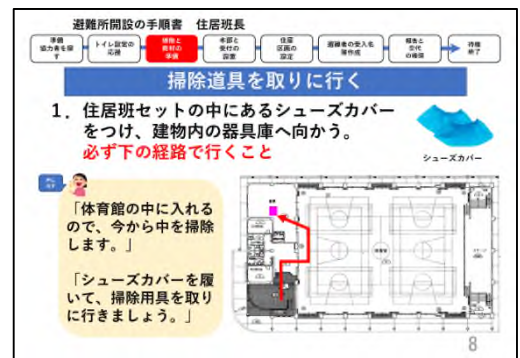


大規模災害発生!! 避難所へ避難!!

- ・大規模災害時、小学校へ避難してきた人が3人集まったら箱を開けてください。
- ・中に「手順書」が入っていますので、手順書に沿って読み進めていきます。

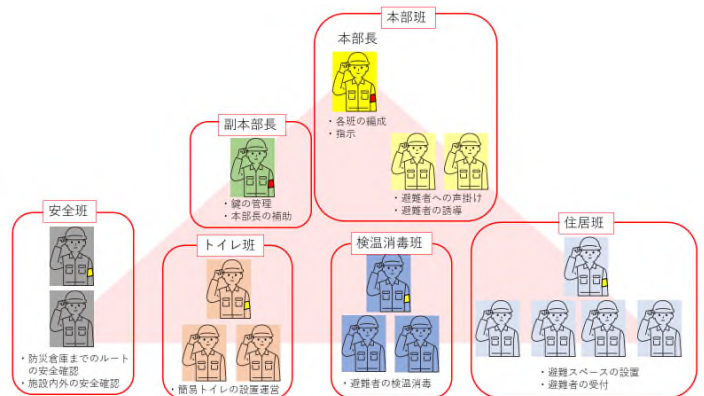


- ・手順書には、そのときやるべきことと、声に出して周りに聞かせるセリフが書かれています。
- ・そのときに使う資器材の写真や、図面が書かれていますので、誰でもミッションが行えるようになっています。
- ・内容も簡単なものになっています。



- ・他の避難者の協力を得ながら、必要な班を作っていきます。
- ・それぞれの班が順番に手順を進めていけば、避難所が開設できます。
- ・その後は、避難所の自主運営に向けて、市職員や自主防災組織の代表者と協働していきます。

まずはボックスを開けて行動しましょう。



解説動画を作成しましたので、
スマホでスキャンしてご覧ください

